

## 「どんぐり未来塾の薬物動態マスター術」 訂正、ならびに補足のお知らせ

ご購入いただきました「どんぐり未来塾の薬物動態マスター術」(2016年9月発行 第1刷)におきまして下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

2017年9月27日

### 【正誤表】

頁	訂正箇所	誤	正
30	Lesson I ①の解答頁	<u>P.148</u>	<b>P.150</b>
31	Lesson I ②の解答頁	<u>P.149</u>	<b>P.151</b>
32	Lesson I ③の解答頁	<u>P.151</u>	<b>P.153</b>
33	Lesson I ④の解答頁	<u>P.152</u>	<b>P.154</b>
60	Lesson II ①の解答頁	<u>P.154</u>	<b>P.156</b>
61	Lesson II ②の解答頁	<u>P.155</u>	<b>P.157</b>
61	Lesson II ③の解答頁	<u>P.156</u>	<b>P.158</b>
66	13～14行目	<u>カルバマゼピンは一次消失過程が成立する「線形型薬物」なので、投与量と薬物血中濃度は比例式で計算することができます。</u>	<b>カルバマゼピンは、通常「非線形型薬剤」ですが、長期間投与することによって薬物代謝酵素の自己誘導が一定化され、一次消失速度過程が成立すると考えられます。よって、投与量と薬物血中濃度は比例式で計算することができます。</b>
75	Lesson III ①の解答頁	<u>P.157</u>	<b>P.159</b>
76	Lesson III ②の解答頁	<u>P.158</u>	<b>P.160</b>
96	Q2	<u>③キナプリル塩酸塩</u>	<b>③リシノプリル</b>

### 【補足】

60頁 Lesson II ② Q2(解答157頁)で用いた薬物動態パラメータが、参照したインタビューフォームの改訂により現在のIFのパラメータと値が異なっておりますので、問題を解く際には以下のパラメータをご利用ください。

$F=0.7$   $S=1.0$   $Vd=6.3(L/kg)$   $t_{1/2}=44(hr)$

パラメータはいずれも「ハーフジゴキシンKY錠0.125mg, 0.25mgインタビューフォーム(2016年2月改訂第10版)より。

※ $t_{1/2}$ の値は幅があるので、高齢による排出遅延を考慮し、腎機能正常者の最大値を用いました。